



世界へのプレゼントになろう

2015～2016 年度

国際ロータリーのテーマ

Weekly Report

小諸浅間ロータリークラブ

- ◆例会日/週火曜日 12:30～13:30 ◆例会場/小諸市鶴巻 音羽
- ◆事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
- ◆会 長 / 渡辺 頼雄 ◆副 会 長 / 掛川興太郎
- ◆幹 事 / 前田 博志 ◆クラブ広報・情報委員長 / 矢島 栄一



NO. 1297 平成27年11月24日

| | |
|------|-----------|
| ◆点鐘 | 掛川興太郎 副会長 |
| ◆SAA | 小山盛夫 委員 |
| ◆ソング | 我等の生業 |

会場 小諸市文化センター
 入場無料（主催者発行入場券が必要）
 入場券が必要な方は事務局まで
 出演 陸上自衛隊第十二音楽隊

【会長挨拶】 掛川興太郎 副会長

本日は渡辺会長が都合により、遅れるとのことで、副会長の私が挨拶をさせていただきます。

本日は何の日でしょうか？ 皆様は知っておられますか？ 一昨年12月に「和食」がユネスコの無形文化遺産に登録され、この登録を契機として「イニホンショク」の語呂合わせとして11月24日を「和食の日」として制定されました。秋の実りの季節、日本の食文化の保護と次世代に継承することの大切さを考える日にするという目的の様です。

今、日本食は世界的に健康食として注目されています。現在の日本人の平均寿命は平成14年、男性が80.5歳、女性は86.83歳となっています。日本人の平均寿命の高さから見てわかるように、一般的に日本食は非常にバランスのとれた食事と言われています。ご飯を中心に、大豆、魚、海藻を日常的に取り入れる伝統的な食生活は、長寿の秘訣にかなって素晴らしいものであるといわれています。

しかし、その伝統的な食事の中でも一つ欠点があるといわれます。それは「塩分の取り過ぎ」だそうです。

WHOの一日の食塩摂取量の目標値は6グラム、それに対して日本人は12グラムと二倍になっているようです。食塩2グラム減らせば一年寿命が伸びると言われています。

また、心臓病にとって悪いのはコレステロールですが、大豆ではイソフラボン、魚ではタウリン、大豆と魚を十分食べていると動脈硬化指数が10%下がると言われています。男性と女性の平均寿命差は10%下がると女性並みになるそうです。

【幹事報告】 黒澤 明男 副幹事

1. 小諸高校110周年・音楽科開設20周年記念式典 礼状
2. 自衛隊ふれあいコンサート案内
 日時 12月11日（金）18時開演
 12月12日（土）14時開演

3. 週報

南佐久、上田六文銭RC

《本日の配布物》

週報1295・1296号、理事会報告、ロータリーの友11月号

◆出席報告 矢島 栄一 委員

| | | |
|-------------|-----------|--------|
| 会員数 23名 | 出席義務者 20名 | 免除者 3名 |
| 本日 | 出席 16名 | |
| | 事前MU 1名 | 80.00% |
| 前々回 (11/10) | MU 0名 | 66.67% |

◆委員会報告

クラブ広報・情報委員会 中河 邦忠委員

・ロータリーの友11月号紹介

クラブ運営委員会 小林 秋生委員長

・クリスマス夜間例会について

ロータリー財団・米山奨学会委員会 青松英和委員長

・ロータリー財団特別寄付金のお願ひ

◆ラッキー賞

No.13 工藤 泰一君

◆ニコBOX 小林 秋生 委員長

| | |
|--------|---|
| 小林 秋生君 | 今日の例会、あちこちの席で咳払い、鼻かみ等大勢おられます。季節の変わり目、皆様体調に気をつけましょう。 |
| 工藤 泰一君 | ラッキー賞有難うございました。 |
| 小池平一郎君 | 11月28日に海援隊のコンサートがあります。“武田てつや”（金八先生）のトーク&ライブです。チケットが残っておりますのでよろしければどうぞ |
| 青松 英和君 | 本日、卓話を担当します。宜しくお願いします。 |

【本日のプログラム】ロータリー財団月間によせて

ロータリー財団・米山記念奨学会委員会 青松 英和委員長



ロータリー財団の成り立ち

1917年ロータリーが基金を作り、慈善活動やその他の社会奉仕活動の分野で全世界的な規模で「何か良いことをしよう」との提案があり、1928年募金総額が5000ドルに達し、この基金はロータリー財団と命名された。

当初は財団の基金も順調に集まらず、活動の方向性や方法論も確立しておらず、動そのものが低迷していましたが、1947年RIの創始者のポール・ハリスの死去に伴う記念募金活動で200万ドル以上の資金が集まり、この資金で後の国際親善奨学金事業の前身となる海外留学奨学金の事業が始まり、本格的な財団活動がスタートした。

ロータリー財団月間の意義

RIが1964-65年度に設けた毎年11月15日を含む一週間のロータリー財団週間を発展的に解消し、1983-84年度に11月の一か月間をロータリー財団月間と定めた。

その目的として、財団の奨学金事業及び人道的諸事業についての知識と理解を深め、財団の推進に役立つプログラムを実施する月間とあります。

何故週間から月間になったかと言うと、RIの存在とロータリー財団の活動は表裏一体のものであり、時代と共に拡大する財団の活動を広く会員に周知し、社会に広報するには一週間と言う時間は短すぎると判断されたからと思う。

ロータリー財団の活動

ロータリー財団の活動は時代の変化と共に大きく変わってきた。

財団の活動が世界的規模に広がると共に活動の目的や補助金の配布方法、使われ方が変わってきた。

ポリオプラスプログラム

ロータリー平和センター

補助金プログラム 地区補助金 グローバル補助金 パッケージ・グラント

日本ロータリー独自の「米山奨学金制度」

財団の活動資金はどこから得ているか

年次基金 「EREY」

年次基金はロータリー財団の活動を支える最も重要な資金源

前年度の当クラブの寄付金は197,600円

目標は一人「150」ドル（150×120円＝18,000円）

年次基金は3年間投資運用し、投資収益も含め3年後の活動に使用される。

米山記念奨学会は日本ロータリーの世界に誇るべき教育的貢献活動

前年度の当クラブの寄付金は150,000円

目標は一人20,000円

その他に「恒久基金」 年次基金は寄付金とそれに伴っての投資収益の両方が使用されるのに対し、恒久基金は寄付金を元金として運用し、投資収益の一部が財団の活動に使用される。

ロータリーへの思いをずっと持ち続けたい方はこの方法もよいかと思います。

※ロータリー財団への寄付は税優遇措置の対象になる。

いずれにせよ、世間に善いことをする、即ち社会奉仕活動には金がかかるわけで、ロータリー財団の活動に今一段の貢献をお願いしたい。

次週のプログラム：12月2日 クラブ協議会「年次総会」

12月8日 クリスマス家族夜間例会 （クラブ活性委員会）